

affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI
Chartered October 30, 1994



〒 192-0911
東京都八王子市打越町 334-2-5-201
花輪 宗命 TEL&Fax : 042-636-6157
E-mail : hanamate@rk9.so-net.ne.jp

2020年9月

第303号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 花輪 宗命
副会長 山本 英次
書記 長谷川あや子
会計 小口 多津子
直前会長 並木 信一
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 重子

国際会長 Jacob Kristensen(デンマーク) 主題 価値観、エクステンション、リーダーシップ スローガン「命の川を信じよう」
アジア太平洋地域会長 David Lua(シンガポール) 主題:「変化をもたらそう」
スローガン;「奮い立たせよう」
東日本区理事 板村 哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化を楽しもう」
副題:「助け合い、分かち合い」
あずさ部部長 御園生 好子(東京サンライズ) 主題:「変わるに挑戦!」
クラブ会長 花輪 宗命 主題:「すべてに感謝」

9月例会プログラム

(担当: B班 久保田、花輪、並木真、望月、福田)

日時: 9月12日(土) 18:00~20:30

会場: 八王子市北野事務所 2F 大会議室

受付: 並木(真)、福田

司会: 久保田

開会点鐘

山本副会長

ワイズソング

一同

ワイズの信条

一同

ゲスト・ビジター紹介

山本副会長

聖句朗読・食前感謝

並木(真)

会食

卓話: 望月 隆珉氏(八王子ワイズ会員)

「介護の現場で」

東京 YMCA 報告

担当主事・中里

連絡事項

山本副会長

A Happy Birthday

山本副会長

スマイル

福田

閉会点鐘

山本副会長

巻頭言

部長公式訪問

あずさ部部長 御園生好子

今期の第一回評議会をご準備くださりコロナウイルス禍の為に中止となった八王子クラブさんへの公式訪問ということで、ご苦勞をねぎらいたいと思っておりました。

ご準備ありがとうございました。

又当日は前会長の並木信一さんの会長感謝会ということでその様な晴れやかな場に参加させていただき此方こそ感謝でございました。

並木信一さんから新会長花輪宗命さんへ会長バッチの引継ぎ、感謝品の贈呈が有り、現在休会中ですが酢屋善元さんよ

先月の例会ポイント(8月)

		BF ポイント	
在籍	13名	切手(国内・海外)	607g
2020.2~8月延べ数量			
メン	10名	累計	607g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	77%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	7,300円
ゲスト	2名		
ビジター	11名	累計	76,623円
ひつじぐも	0名	オークション	0円

今月の聖句(2020年9月)

すると、正しい人たちが王に答える。「主よ、いつ私たちは、飢えておられるのを見て食べ物差し上げ、喉が渇いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。いつ、見知らぬ方であられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか。いつ病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。」そこで、王は答える。「よく言っておく。この最も小さな者の一人にしたのは、すなわち、私にしたのである。」

(新約聖書・マタイによる福音書 25:27~40)

りのプレゼント等が長谷川あや子さんの進行の下に八王子クラブらしい穏やかな心使いのセレモニーが有りました。

部長をお引き受けした時にはコロナの事など夢にも思わず、部長主題を「Challenge to Change」(変わることに挑戦)としましたが昨年度後半よりコロナウイルス禍が日に日に増していき挑戦せずとも変化が多く、いろいろな面で手探りの状態でございます。



ご挨拶される あずさ部部長 御園生好子様

コロナウイルス禍の部長として五つのお話をさせて頂きました。

①リモートの活用

あずさ部でも二回 Zoom を使用しました。

会議に無駄な費用、時間を省くという点ではこれもまた良いかな?と思います。

これからも必要に応じて Zoom を使用したいと思っています。

②情報の共有

この様な状況下では情報を共有するという事は大事だと思います。

例会もなくワイズがどの様な状況かもわからないことは、段々ワイズの魅力が失われていきます。

そこで不定期ですが部長通信を発行しました。

③CSについて

様々な CS 活動。が中止になっています。これも無理のないようお願いします。

機をみて柔軟かつポジティブに対処していきましょう。

又、コロナ関係で手作りマスクを作ったり医療施設へのご奉仕等ありましたら CS の申請をして下さい。

④EMCについて

私のモットーは「楽しくなければワイズじゃない」と思っています。一人一人が楽しんで参加出来なければこの様な任意団体は消滅の一途をたどってしまいます。

EMC でお声がけするときも「楽しいから一度出席してみして下さい。」とお誘い下さい。自らが楽しまないと言得力は有りません。

⑤部大会について

10月17日(土)に八王子の「わくわくビレッジ」で開催予定ですが何分にもソーシャルディスタンスの件、10月にはコロナウイルス禍はどうなっているのか?

と問題は山積みです。

部内の親睦を図る為にも是非、ご出席下さい。

8月の「直前会長感謝会」のこと

小口多津子

今年は会場の広さを考えて、高尾の森わくわくビレッジで開催しました。

6月の都の非常事態宣言が解かれ希望を持っていた頃に、担当の私達班は、例会日8月8日を予約しました。出席者の増える中で、その後は一喜一憂の日々でした。当初は希望した食堂が、100人近い高校生の集まりで予約が入っていました、そこがその後取り消されて、使えることとなりました。それがますます不安をかすめました。そして、8月に入り都で400人を超える感染者の数字を見て、何度、取り消しへと気持ちが動いたか、まだ今なら間に合う、連日、そればかりでした。その頃にビレッジの菅野館長から、当日の朝の検温の注意などがありました。その上で悩みぬいた私達の出した結論の「実施を希望」を会長に伝えると、それに対して花輪会長は気持ちの動揺を隠せず、ぎりぎりまで悩まれました。そして直後、すぐに全メンバーに送られた会長からのメールが次でした。キーを叩かれていた時間は真夜中の3時。以下です(途中省略)。

「この事態を踏まえ、改めて申し上げるまでもないとは思いますが、8月例会に出席すると回答頂いているメンバーの方々に、念のためお伝えしたいがございます。

8月8日の例会は、直前会長への感謝会も兼ねており、上記の様にあずさ部部長の公式訪問を含む豪華メンバーが揃う、滅多にない例会でもあるので、私たちとしては、当日のプログラムや会場の設定に万全を期して挙げる心算しております。

しかし、昨今の状況を考慮して、出席を予定しているメンバーの皆様には、決してご無理をなさらないようお願いしたいと思います。

また、ご家族が、皆様の身を案じて参加を見合わせるように希望されるようなご家庭もあるかもしれません。遠来のお客様に感染のリスクを負わせるのを快よしとしない方もおられるかもしれません。

若しそのようなことがある場合は、「欠席」の連絡を入れるのに躊躇しないで頂きたいです。

現下の状況の中で、「欠席」に切り替える勇気を持って頂くことは、私達の身の回りの方々のことを想い、その人々の幸せと安心を願うワイズメンスピリットに些かも矛盾することではないと思います。」

心に迫る、深刻な文でした。当日は会場を広く使わせて頂き、すべてに配慮が行き届いていましたので、予想以上に楽しく終えてほっとしました。

この後、全員がご体調に何も変化がなければ、本当に始めてほっとします。

直前会長感謝会あれこれ

長谷川あや子

“神さまの御心にかなうような感謝会にしたい”

直前会長感謝会の開催にゴーサインが出てからずっと心に思っていたことでした。自然に恵まれた高尾の森わくわくビレッジでの感謝会…それこそワクワクする気持ちでいっぱいでした。

高尾山グループのお一人、木村さんが2月にお亡くなりになり、そのお墓参りに行きたいと久保田さんからお誘いがあり、7月13日に有志で八王子霊園に参りました。山百合がいっぱい咲いている頃でした。東京西クラブの本川さんもいらして下さり、あれこれお話しているうちに、8月8日の八王子クラブの感謝会に話が及んでお誘いしたのです。そうしたらあつという間に西クラブから6人参加、というご連絡を頂き実はこちらがびっくりした次第。又、甲府21の野々垣さんにメールしたところ、出席して下さいというご返事。しかも「ワインを持って」とのこと。嬉しさが倍増しました。部長公式訪問が決まっており、サンライズクラブから4名、ゲスト2名、クラブメンバー・メネットと合わせて25名という今までの感謝会に例をみない多彩な顔触れでした。

計画した頃は、コロナウィルスのことは心配しつつも十分注意すれば大丈夫という程度の認識でしたが、開催日が近づくにつれ事態はだんだん深刻な様相を示すようになりました。開催か中止か、ラインやメールに意見が飛び交いました。でも高尾わくわくビレッジが休館にならない限りは絶対に開催したいと念じておりました。私は秘めた一念でしたが、花輪会長、小口A班班長の胸の内はもっと苦渋に満ちていたと思います。難しい判断だったと今にして思いますが、当日は皆と久しぶりに会う嬉しさに満ちていました。尊敬とユーモアに満ちた花輪会長の直前会長並木さんへの感謝の言葉に耳を傾け、大吟醸「氏照」の進呈に拍手が起きました。食事もワインも美味しく頂きましたが、何より皆が健康で一堂に会せ、幸せをかみしめた一日でした。



担当委員長のつぶやき

こしばらく会計に携わっています。あらためて会計とは、私自身が色々な事から遠のいてきた事で、消えていきそうな自己の「集中力」を養う事に一番の薬になっています。月2回、例会後の処理、前・後期末にある決算報告書を作ること。1年間の穏やかな湖水に、この時だけは波紋が次から次へと押し寄せて、錆びてきた頭に集中力を追い込みます。毎日でないところが心地良いです。

財源の私達の会費の使われ方ですが、会費(6万/年)は大雑把に計算してみると、区・部への支援と分担金(25,900円)、例会・事務関係・その他(29,900円)、支援・協力費(7,300円)になります(昨年度の場合です)。はみ出た分はスマイルで補充。

YMCA サービス

並木 真

YMCA サービス担当として、関わりの難しい年ではありますが、この1年以下の3点を念頭において、活動をしてまいります。

1. クラブのサービス対象であるYMCA 自体を知り、理解するために、年に1回は例会をこのための時として整える。
2. これまで同様、チャリティラン他のYMCAプログラム、また、ユースボランティアの働きへの支援を継続する。
3. クラブメンバーがこぞってYMCAの会員となることを推奨する。

ブリテン発行 300号を記念して

山本 英次

今更ながら、ブリテンの歴史の重みを感じております。奈良さんと眞野さんに手取り足取り編集方法やパソコンのイロハを教えて頂きながら、ある時は豊田駅前のシャノールで、ある時は勤務先の府中神経病院の部屋の片隅で教えを頂きました。また、ご自宅のある角栄団地(羽生さんのお宅の隣)までの道のりを毎月のように通ったものです。

思いで深いブリテン編集に携わり、この役割に使命感を感じ、この仕事が必要とつくづくに退会していただろうに？？300号を祝いしていただき感謝に堪えません。勿論、私だけの力ではありません。多くの人々のお力に支えられてやっとここまで来たという感じです。花輪会長のお言葉に沿って、感謝に堪えません。

西東京センター便り・9月

YMCA 西東京 センター長 中里 敦

梅雨明けした8月は非常に暑い夏でした。暑さとクーラーの冷たさで体が疲れ気味ですが、皆さんは体調をくずされたりしていませんか？

ご承知のとおり今夏は宿泊を伴うキャンプは中止となりましたが、「#はなれていてもつながっている」YMCAとして子どもたちにキャンプ100年Tシャツをプレゼントしました。その数は700枚以上。YMCAのキャンプを楽しみにしてくれている子どもたちがたくさんいたことに嬉しく思いました。そして、プレゼント企画に賛同してくれたリーダーOBOGからもたくさんの方の支援をいただくことができたことも感謝です。みんなでキャンプにいけなくても、YMCAに集えなくても同じTシャツを着てつながっている思いを持ち、いつの日かまたみんなでキャンプを楽しみたいと願っています。

そのような夏ですが、日帰りのデイキャンプ、PIT国立は実施しました。子どもたちにとって短い夏休みのよき思い出となれば幸いです。この夏は新たに行ったプログラムもいくつかありました。山中湖と野尻のそれぞれのキャンプ場でファミリーを対象に現地集合解散で実施しましたが、予約もすぐにキャンセル待ちになるほどでした。普段のキャンプとは違い、家族が自由にそれぞれのペースでプログラムを楽しめる工夫をして、のんびりと過ごしてもらうことができました。オンラインは、リーダーがユーチューバーになって5日連続で、「キャンプソング」「体を動かそう」「クイズ」「クッキング」「クラフト」をしました。また、バーチャルでのキャンプにも初挑戦しました。コロナの影響で今までにないツールを使うようになり、新しいツールも使いながら子どもたちとの新たなつながりを創っていきたいです。

高尾の森 わくわく便り・9月

高尾の森わくわくヴィレッジ館長 菅野 牧夫

先日の直前会長感謝会が無事に終わってホッとしています。わくわくヴィレッジでのお食事はいかがだったでしょうか？

今回と次回はわくわくヴィレッジのスタッフについて少し知ってもらいたいと思います。第1弾はプログラムスタッフです。名前とわくわくのエピソードを書いてもらいました。

稲垣良磨(いながきりょうま) 副館長

フロント横にザリガニが住んでいます。脱皮に失敗をしてハサミが2本ともとれてしまったのですが、脱皮で新しいハサミが生えてきたので驚きました。枝豆が好物だったので名前はえだめです。

由井卓哉(ゆいたくや) プログラムマネージャー

わくわくヴィレッジは、自然が豊かな為、毎年4月頃からスズメバチの駆除を行っています。今年も写真にあるような大きなスズメバチ(多分女王蜂)が取れました。今日もアシナガバチの大きな巣が作られていたため、設備のスタッフと大騒ぎで駆除しました。

鶴岡修也(つるおかしゅうや)

私が一番好きな時間は、いろいろな人からいただく「おやつ」を食べている時です！皆さんの「優しさ」で、心も体も元気になって午後の仕事も頑張れます！

平中葉(ひらなかよう)

わくわくで衝撃を受けたのは、野生のキジがいたことです。こちらを警戒する様子もなく、その辺の草むらをガサガサ歩いていました。上司に興奮気味に伝えたところ、この辺ではたまに見られるとのことで、八王子市の大自然に圧倒されました。

村上いくこ(むらかみいくこ)

わくわくヴィレッジオープン時からの古株でクラフト担当です。当然ここにはとても書けない事が沢山ありました。本当は出してください。

今月の聖句によせて (2020年9月)

武蔵野YMCAの油絵教室に通い、また、ボランティアとしてYMCAの委員もお願いしていた、Oさんというご婦人がいました。YWCAでも活躍をされましたが、背が高く、いつも背筋をピンと伸ばし、思慮深く、毅然として近寄りたいたい印象を漂わせている方で、誰に対しても正しいと思ったことをはっきり主張する方でした。しかし、親しく接していくにつれ、実に優しさに満ち溢れ、誰にたいしても、細やかな心配りをなさる方であることを知らされました。地域のボランティア活動にも熱心で、武蔵野市でボランティアセンターを設立する時には中心的な役割を果たし、初代の事務局長も務められ、開設当初のセンターの事務局にはYMCAの女子ボランティアを用いられました。

ある時、Oさんとおしゃべりの中で、「座席がすいている電車に乗った時に、どのあたりに座るか」、という話になりました。私は、本音で、「降りるときに楽なのでドア近くに座ってしまいますね。」と言いました。Oさんは、「私は、座席の真ん中あたりに座るのが習慣になっています。」との答え。かつて、自分がドア近くに座っていたときに、白杖を持った方が乗ってこられ、すいている電車であるにも拘わらず、ドア近くの座席が空いていなかったため、ずっと立ったまま乗っているのを見たことがあり、以来、ドア近くの席には座れなくなった、と言うのです。いつも傍らに自分の配慮を必要としている人の存在を感じながら生きているOさんの生きざまに接した思いのしたことでした。このOさんの座右の聖句が、「この最も小さな者の一人にしたのは、すなわち、私にしたのである。」でした。

私よりもずっと年配でしたが、Oさんは、私がこれまで接したご婦人の中で、最も尊敬し、影響を受けた方でした。

並木 信一

中大ひつじぐも便り

中大ひつじぐも ワイズ担当 渡辺 伊純

暑さ厳しい折、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

大学は夏季休暇が始まりましたが、サークル活動においては、夏季休暇期間中の対面活動が禁止されており、現在もオンラインで定例会を毎月実施しております。

近況報告も踏まえ先月号に続き、私が今月号を書かせていただきます。

夏季休暇が始まりましたが、私は変わらず徳島県の実家で毎日過ごしています。時間がある休暇期間中だからこそ、自分の興味がある分野をより深く勉強したいと思い、インターネットや本を通して知識を深めています。

今年の夏は例年以上に暑い日々が続き、最高気温が 40 度と観測された所もあるそうです。このような全国的な気温の上昇は地球温暖化の影響であると思います。このことから私は最近、環境問題に興味を持ち始めました。地球温暖化は、二酸化炭素の排出量が増加し始めたことが原因であり、地球の平均気温の上昇をもたらします。気温上昇による被害として、高潮や沿岸部の洪水、人々の健康被害への影響、干ばつによる食糧不足の可能性、陸地や海域の生態系への影響が挙げられます。実際的な例として、去年の末から発生したオーストラリアでの大規模森林火災が挙げられます。地球温暖化により、乾燥化が進む地域では森林火災が増え、野生動物が危機に追い込まれ、生態系への変化をもたらすのです。

さらに、異常気象による自然災害として今年の7月に発生した九州豪雨です。住宅の浸水被害は1万棟を超え、多数の死者が発生しました。自然災害の規模が大きくなってきていることを感じられます。

このような被害を少しでも減らすために一人一人が地球温暖化の防止について考え、意識を持ち ECO な生活を心がけていく必要があると思います。

皆様も感染症予防対策と共に、地球に優しい生活を心がけてみてください。暑い日が続きますが、くれぐれもお体ご自愛下さい。

トピックス 高尾の森スズメバチ出現



報告

〈報告〉

2020年8月第一例会(直前会長感謝会)

日時:2020年8月8日(土)17:00~19:00

会場:高尾の森わくわくビレッジ(担当A班)

出席:菅野・久保田・小口・中里・並木信一・

長谷川・花輪・福田・望月・山本

メネット:久保田・並木(信一)

ビジター:御園生・小山久恵・江原・小山憲彦・

篠原・石井・河原崎・鳥越・本川・村野・野々垣

ゲスト:岡垣・酢屋 以上25名

◇直前会長並木信一メンへ花輪会長より感謝の言葉と感謝の品を贈呈

◇あずさ部部长公式訪問—御園生部長ご挨拶

◇会食・懇談 ◇東京YMCA 報告

◇A Happy Birthday・・並木真メネ・篠原さん

2020年8月第二例会

日時:2020年8月22日(土)18:00~19:30

会場:北野事務所小会議室

出席:小口・長谷川・久保田・花輪・福田・望月・並木信一・山本 以上8名

A 報告

・ブリテン9月号に300号記念の言葉を掲載する。(山本編集長)

B 協議

・2020—21年度予算・・・各種献金は例年通り

・チャリティラン(ウォーキング大会):西東京センターより1チーム参加なので、武蔵野多摩クラブと八王子クラブで各50,000円支援

C 今後の予定

・9月第一例会:9月12日(土)18時~20時
卓話「介護の現場で」望月メン

・9月第二例会:9月26日(土)18時~20時
北野事務所小会議室

・10月以降、年内の第一例会について・・・卓話はクラブメンバーにお願いすることにする。

・12月クリスマス例会:12月12日(土)17時~20時半 会場:大学セミナーハウス

・あずさ部部大会:10月17日13時~16時
高尾の森わくわくビレッジ、会費3,000円

参加予定は現在7名—9月12日までに長谷川まで。

・甲府21クラブ30周年記念例会についてはクラブ会長に案内が来てから参加者を募る。

・チャリティコンサート:3月13日(土)

チラシ、チケットは12月第二例会で配布。

会場の定員が100名なので販売は参加できる人を確認の上とする。

担当委員長のつぶやき その2

CS委員長

久保田 貞視

当クラブの地域奉仕は現在、東日本大震災被災者支援並びに地雷廃絶のためのチャリティコンサート及び茂木ワイズが担当されている高尾わくわくビレッジの花壇の管理かと思われれます。そのうち、今年3月の春のチャリティコンサートは新型コロナウイルス感染拡大のため、国・都からの自粛要請でキャンセルになり、来年3月に延期となりました。しかし、来春でもコロナ禍の影響あり、収容人員を115名で実施することになり、採算を勘案し、チケットの販売・宣伝の仕方を検討することになっています。

交流委員長

久保田 貞視

交流には IBC, DBC, 東日本区、あずさ部内の交流がありますが、3月からのコロナ禍の影響で殆ど中止となり、動きがとれません。IBC については来年のアジア・パシフィック地域大会が台湾・高雄で開催されることよりクラブからできるだけ多くのワイズが参加し、IBC である高雄ポートクラブと交友を深めたいと思います。DBC については大阪セントラルクラブの解散により、解消したため、どこか西日本区のクラブと模索中です。

交流、特にあずさ部内での交流は活発にしようと思いますが、コロナ禍の影響で中止されている状況です。状況が改善されたら皆で出ていきましょう。

「EMCについて」

並木 信一

私は、4年前のあずさ部の「会員増強アンケート」に次のように書きました。この思いは今も変わることがありません。

*クラブの目標—5年後、10年後にこうありたいと望む姿

●イメージ : 地域には、生きていくこと自体に、困難を抱えることもや大人が多くいると思われれます。この人々に寄り添うことのできる場を作り、この場を運営することのできるクラブ。

●たとえば : 家庭的な事情で欠食している子どもに食事を提供したり、遊びの相手してあげられるような「子ども食堂」の運営等。

●パートナー: YMCA の小さな活動拠点ができ、地域に多い学生のボランティアが多数リクルートされている。

▼EMC には、クラブの目標なり、将来像の共有が不可欠なので、今年度内に一度は此のことをテーマにした協議の機会を設けたい。

ユース委員長

長谷川あや子

中大学Yひつじぐも委員長の川村拓さん、ワイズ係の渡辺伊純さんと連絡を密にとり、クラブ定例会、クリスマス会、高尾わくわくビレッジの草刈り、街頭募金、チャリティコンサートのボランティアへの参加、ご協力をお願いしています。今年は新型コロナウイルス感染拡大のため大学の授業はオンライン、クラブ課外活動は自粛を求められています。そんな状況の中、全国各地の大学生ボランティアとも積極的に連携を図るなど頼もしい限りです。IYC、AYC には毎年中大生を推薦しています。来年のAYC は台湾・高雄で開催予定ですが是非参加して頂きたいと思います。中大ひつじぐもと八王子ワイズとの交流は2001年2月より現在まで活発にきめ細やかに続いています。中でもブリテンへの寄稿は2001年5月から毎月必ずどなたかが書いて下さっていて感無量です。八王子ワイズとの交流が彼らの心の糧となりますように私達も努力したいと思います。

9月の誕生日

大久保 重子 さん 9月12日

あずさ部・部大会

コロナに負けるな・わくわく部大会

日時: 令和2年10月17日 午後1時~4時

登録開始 12時30分~

尚、大変恐縮ですが会場は貸切ではありません。

待ち合わせスペースは多少ありますが、登録受付設置の都合上、極端な早着はお避け下さい。

会場: 高尾の森 わくわくヴィレッジ

東京都八王子市川町55

TEL 042-652-0911

バス乗り場案内

JR中央線 高尾駅北口バス乗り場より

霊園01系統「高尾の森わくわくビレッジ」行き終点

所要時間 約14分 発車時間12時・13時00分 20分 40分

会費: 3,000円